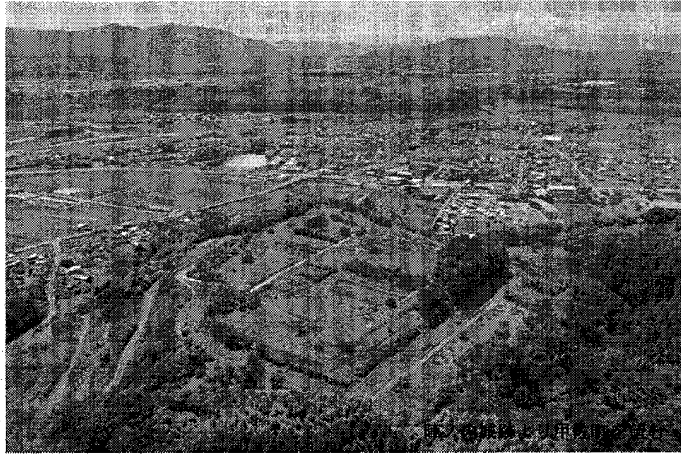


## 陣ノ内城跡の概要



甲佐町教育委員会社会教育課  
上高原 聡

## 1 陣ノ内城跡の指定について

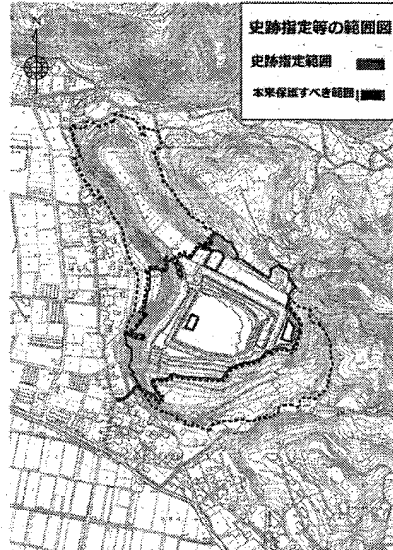
## ○ 指定の概要

名称 陣ノ内城跡  
(じんのうちじょうあと)

所在地 熊本県上益城郡  
甲佐町大字豊内

指定面積 78,422.89㎡

指定日 令和3年10月11日



## ○ 指定の概要

6月18日 国の文化審議会が国指定文化財の史跡にする  
ように文部科学大臣に答申する。

10月11日 官報告示により史跡に指定される。

※熊本県内では平成26年以来、7年ぶり

※城郭では、

田中城（和水町）、熊本城（熊本市）、宇土城（宇土市）、  
堅志田城（美里町）、八代城郭群（八代市）、  
佐敷城（芦北町）、人吉城（人吉市）、棚底城（天草市）  
に次ぐ9番目

## 2 陣ノ内館跡⇒陣ノ内城跡へ

### ◎「陣ノ内館跡」

○根拠：江戸時代（17世紀末）に書かれた古文書

「拾集昔語」

渡辺玄察著：阿蘇家旧臣、早川巖島神社神主

「・・・甲佐伊津野居城松の尾之上、當分迄も御陣の内と申所の三四町四方も可有之平地一面之所、當分迄も大堀有之候處に被成御殿作、・・・」

○昭和55年2月23日 甲佐町指定文化財

⇒定説へ

## ◎「陣ノ内城跡」

### ○城郭研究の進展

陣ノ内城跡はホントに「館」？

⇒「巨大な堀と土塁が残る謎の城」

### ○平成20年以降の発掘調査や関連史料調査

阿蘇氏の館 ×

この部分については後ほど！

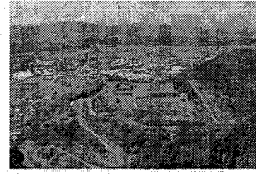
小西行長の城 ○

○令和元年 陣ノ内館跡⇒陣ノ内城跡へ

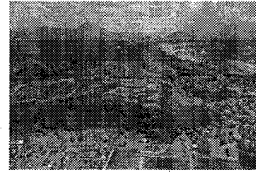
## 3 陣ノ内城跡の構造

## ◎立地

- 尾根線の先端に立地
- 阿蘇4火砕流が浸食されずに残った部分
- 標高100m
- 比高64m
- 西側の崖下には流路があった可能性あり



陣ノ内城跡から  
甲佐町を望む



陣ノ内城跡から  
甲佐町を望む



陣ノ内城跡と龍集塔



## ◎現在の陣ノ内城跡

	長さm	幅m	深さ 高さ m
堀	400以上	20	5
土塁	270以上	15~30	5

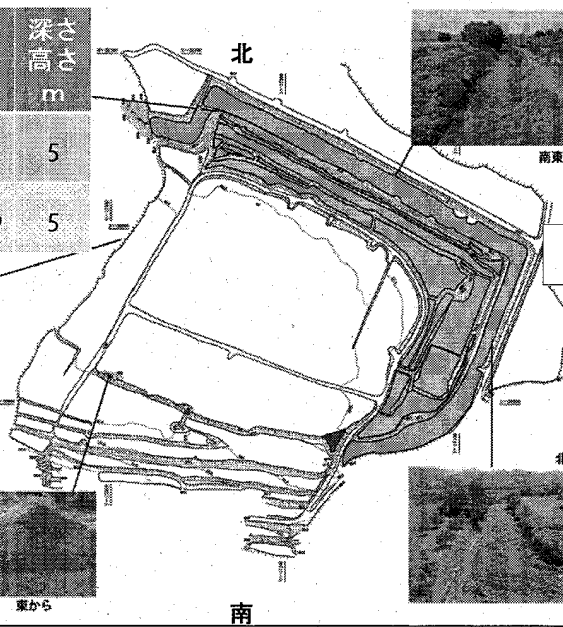


北から

- 土塁 (あげつち)
- 堀
- きどまる (木戸丸)



東から



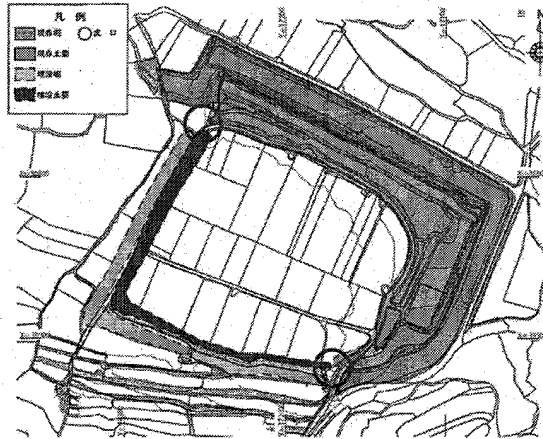
南東から



北東から

## ◎明らかにになった陣ノ内城跡

「堀とその内側に沿った土塁が明瞭に残り、その規模は発掘調査で確認されたものを含めると、東西210m以上、南北190m以上の北西と南東に虎口を持つ方形の城」



	長さ m	幅 m	深さ m
現存	400	20	5
埋没	275	8.5	2.7

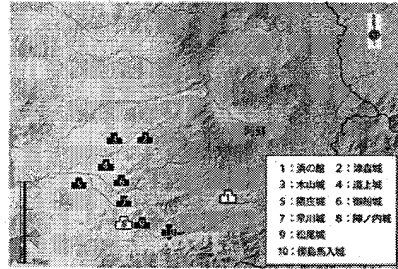
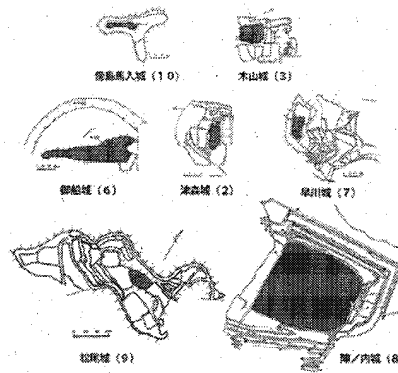
## ◎阿蘇氏の城郭との比較

○規模：陣ノ内城跡がはるかに大きい

○構造：阿蘇氏の城郭  
⇒大規模な普請はしない  
自然地形を活かした城

○16世紀末～17世紀前半  
の中国産の輸入陶磁器  
が出土

⇒豊臣系大名統治以降の城



## 4 陣ノ内城跡は誰が？

### ◎佐々成政

○天正15年6月 2日 入国

天正15年7月10日 肥後国衆一揆 勃発

天正16年1月 肥後国衆一揆 鎮圧

摂津尼崎にて 幽閉

天正16年閏5月14日 切腹

⇒実質半年の統治

## ◎加藤清正

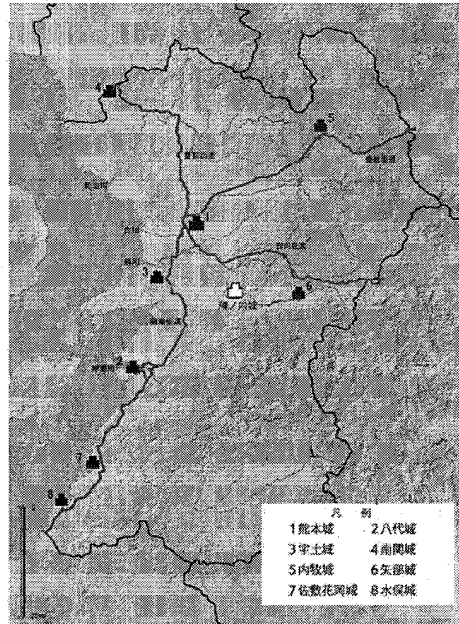
○慶長5年 肥後一國統治

○慶長9～12年に作られた『肥後国絵図』に陣ノ内城はない

○清正の支城の特徴

- ▶石垣と瓦葺きの礎石建物がある
- ▶熊本城を起点とした街道沿いにある

⇒該当なし



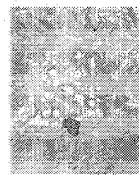
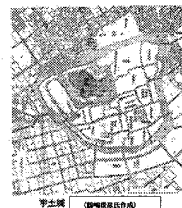
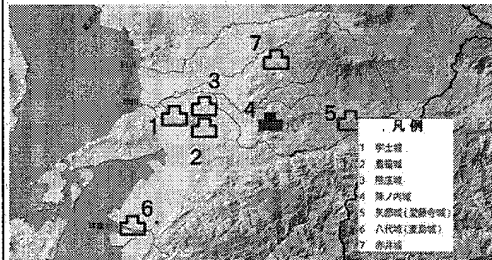
## ◎小西行長

○天正16年間5月～慶長5年

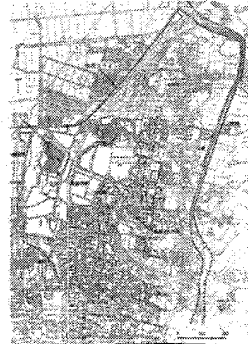
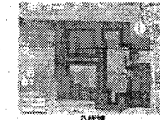
○行長の城の特徴

直線的で屈曲した巨大な堀をもつ

⇒小西行長の築城



方位は北を上方に採り、赤塗は主郭を表す





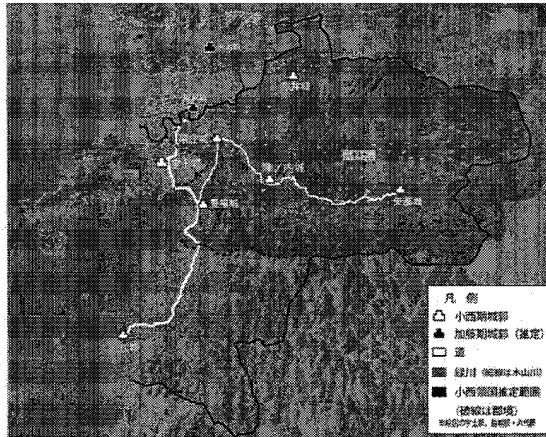
## 5 水陸交通の要衝の城

### ◎立地の特徴

○河川交通の出発点

○宇土城と矢部城の  
中継地

⇒宇土城を起点とした  
領国を縦横に結ぶ水  
陸交通の要衝に立地



正保図略図（京都文庫所蔵）

運地の対象	該当城郭	備考
海上交通	宇土城・八代城	港近くに築城
陸上交通	宇土城・豊福城・隈庄城・陣ノ内城・矢部城   八代城	領国を縦横に結ぶ経路上に築城
河川交通	宇土城（下流）・陣ノ内城（中流）・矢部城（上流） 宇土城（緑川下流）・赤井城（緑川水系木山川）	緑川筋状に築城
境目	宇土城・八代城・矢部城・赤井城	

## ◎阿蘇氏にも要所

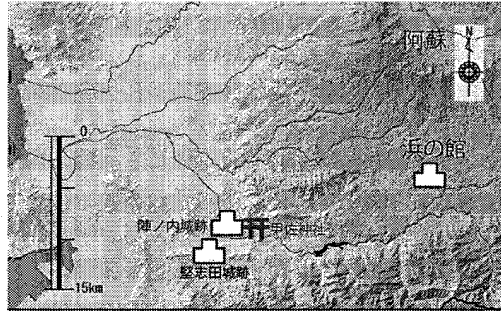
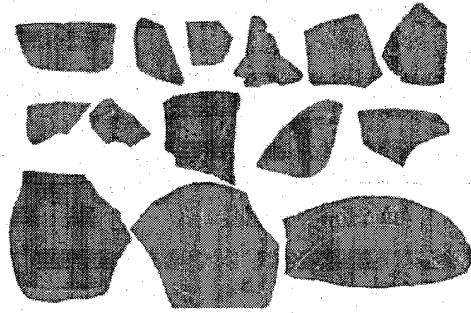
○熊本平野への進出口

○「恵良惟澄軍忠状」  
「甲佐嶽」「甲佐城」

○『上井覚兼日記』  
「甲佐の囿」

○阿蘇氏の時期の中国産  
の輸入陶磁器が出土

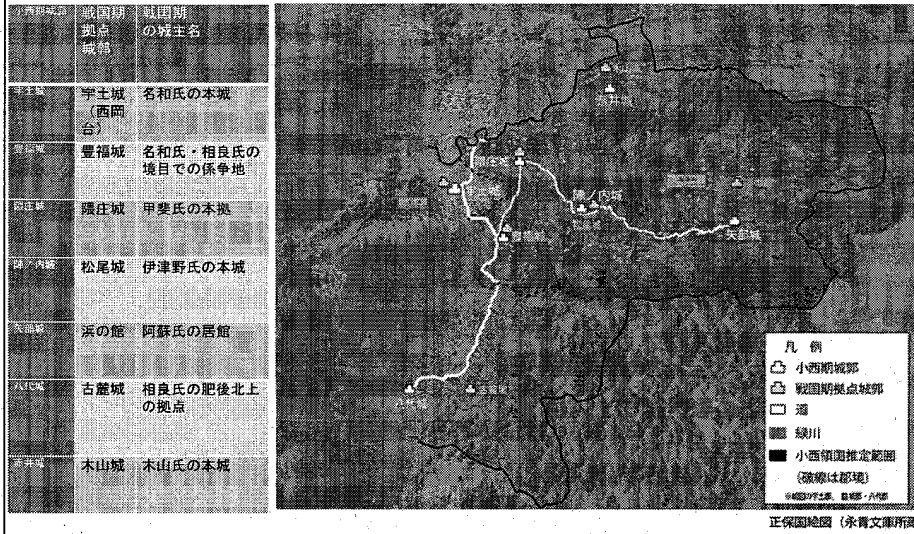
⇒阿蘇氏の時代から継続  
的に利用されていた



## 6 時代の転換期の城

### ◎小西の城郭に共通する築城の特徴

○戦国時代の領主や有力家臣の城の近くに築城  
⇒統治の手法の在り方を示す



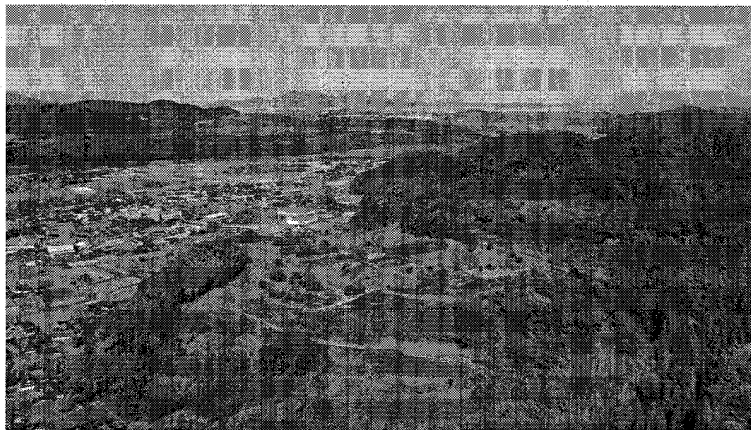
## 陣ノ内城跡の歴史的価値

①肥後国でも突出した規模をもち、保存状態が良好。

②水陸交通の要衝にあり、継続的に利用された。

③阿蘇氏から豊臣系大名に転換する際の統治の方法の一つを示す。

ご清聴ありがとうございました



南東より陣ノ内城跡を望む